



行事で育むもの

校長 西尾 晃明

今月の5～7日、2年生は長野県木島平村へスキー移動教室に行ってきました。参加した2年生全員が3日間のスキー講習を休む事なく元気よく取り組み、最終日には初心者から上級者まで、みんなスキーを楽しむことができるようになりました。

スキー移動教室初日の夜には、鬼島太鼓の演奏会が催されました。今回は伝統的な和太鼓だけの演奏ではなく、カウベル、ティンパレスといったさまざまな国の打楽器も加わった演奏でした。音色も奏法も全く違う楽器が楽しそうに一緒に演奏している様子から、音楽には国境がないのだなとつくづく実感しました。

この演奏を聴いて感じたことは、いろいろな文化を認め、融合させて新しいものを生み出していくという力を生徒たちにも育てていかなければならない、ということです。我々教員の使命をあらためて強く感じました。



さてスキー講習を受け、真っ白な雪の上を滑れるようになることにどんな意味があるのでしょうか。生徒たちが身につけたのはスキーの技術だけではなく、次の4つの感覚が育まれました。

- 1) 達成感「やった。できた。うれしい」
- 2) 一体感「みんなと一緒にできてよかった」
- 3) 自己有能感「できるようになってきたぞ」
- 4) 充実感「あー気持ちいい」

この4つの感覚は、苦しいことに挑むときに自分を奮い立たせてくれる大切な感覚です。

昨年、スキー移動教室に参加した3年生もみんなこの感覚をもっているはずです。入試真っ最中の3年生は、この感覚を思い出すことで、きっと落ち着いて自信をもって実力を発揮できるでしょう。

このように学校行事を通して一人一人の生徒たちの心に育まれたことは、これからの人生で必ず自分自身の支えとなります。

今、1、2年生は、「卒業を祝う会」の準備に一生懸命取り組んでいます。「祝う会」の5日後は「卒業式」です。節目の行事に生徒たちが全力で取り組むのは六中の良き伝統です。我々教員もしっかりと応援していきます。

今後の予定

2/24	都立高校一次入試	3/8	薬物乱用防止教室
2/27	学年末考査	3/10	都立高校二次入試
2/28	学年末考査	3/13	卒業を祝う会
3/2	都立高校一次発表	3/15	卒業式予行

六中生の心

思いやりの心

やさしい心

感謝の心